

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	地球観測に関する政府間会合 (GEO)			担当部局庁	研究開発局	作成責任者	
事業開始年度	平成18年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	環境エネルギー課	環境エネルギー課長 轟 渉	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 宇宙基本計画(令和2年6月閣議決定) 「GEO戦略計画2016-2025」(平成27年11月GEO閣僚級会合承認) 統合イノベーション戦略2021(令和3年6月閣議決定) パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略(令和3年10月閣議決定) 革新的環境イノベーション戦略(令和2年1月統合イノベーション戦略推進会議決定)		
主要政策・施策	宇宙開発利用、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球観測に関する政府間会合(GEO)への参画を通じて、我が国の地球観測並びにデータ活用に係る研究開発成果や国際貢献事例をアピールし、我が国の地球観測に関する国際的なプレゼンス向上を目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球観測に関する政府間会合(GEO)は、「GEO戦略計画2016-2025」に基づき、各国の衛星、海洋、地上等の地球観測データやそれらを活用して得られた情報などの分野・領域横断的なデータへのアクセス及び幅広いユーザへの提供を可能とする全球地球観測システム(GEOSS)を国際協力の下で構築し、情報の需要と供給を橋渡す活動を通じて、SDGs、気候変動、防災、都市の強靱化等の地球規模課題の解決に貢献することを目指している。また、GEOは地球観測を通じた課題解決に資する具体的な活動(GEO Work Programme)等を通して、多様なステークホルダーやコミュニティと連携し、ユーザ、データ提供者、及び科学者等の専門知を統合している。 令和3年5月現在、GEOには113の国・地域がメンバー国として参画し、140の連携機関と協働して地球観測データの共有、利活用、能力開発等の活動が行われている。さらにはGEOの枠組みの下、地球観測サミット(GEO閣僚級会合)、GEO本会合、GEO執行委員国会議及びプログラム委員会等が開催され、世界気象機関(WMO)本部内に設置されているGEO事務局が、各種会議の開催、関係国・機関間の調整や各種サポートを実施している。本事業は日本からの拠出金としてGEOの運営に係る経費を拠出するもの。						
実施方法	直接実施						
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	36	57	58	61	61
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計		36	57	58	61	61
	執行額		36	57	58		
執行率 (%)		100%	100%	100%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)			100%	100%			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
	地球観測政府間会合拠出金		61	61			
	計		61	61			

活動内容 (アクティビティ)		GEOへの拠出金の支出や人的資源の提供及びGEOにおける各種会合の開催・出席を通じて、「GEO戦略計画2016-2025」に基づくGEOの活動を推進するとともに、我が国の地球観測並びにデータ利活用に係る研究開発成果や国際貢献事例をアピールする。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	GEOにおける各種会合の開催・出席をする	GEO関係級会合、GEO本会合、GEO執行委員国会議、アジアオセアニア地域GEOシンポジウムの開催回数(回)	活動実績	回	6	5	5	-	-	
			当初見込み	回	6	5	5	5	6	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	GEOへの拠出金の支払額/各種会合の開催回数(百万円/回)	単位当たりコスト	百万円/回	6	11.4	11.6	12.1			
		計算式	百万円/回	36/6	57/5	58/5	61/5			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7年度	目標最終年度 -年度	
	GEO事務局及びGEO専門家委員会等において日本人が年5人以上任命される。	GEO事務局及びGEO専門家委員会等における日本人の数(人)	成果実績	人	5	4	5	-	-	
			目標値	人	5	5	5	5	-	
			達成度	%	100	80	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文部科学省調べ									
政策評価、新経済・新再生計画との関係	政策評価	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応							
		施策	9-2 環境・エネルギーに関する課題への対応	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-2.pdf					
	新再生計画改革工程表	取組事項	分野:	-	-					
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-						
該当箇所			-							

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、国民や社会に大きな影響を与える、SDGs、気候変動、防災及び都市の強靱化等の地球規模課題の解決に貢献するために地球観測データの利活用の推進等を図るGEOに参画し、我が国の地球観測並びにデータ利活用に係る研究開発成果や国際貢献事例をアピールするものであり、ニーズを適格に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、拠出金の支出等の通じて、多国間の政府間会合であるGEOに参画するものであり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	宇宙基本計画において、GEOSS等の多国間の協力枠組を積極的に活用し、裾野の広い国際宇宙協力を推進することにより、我が国のリーダーシップ等の一層の強化をすることが定められており、GEOSSの構築・発展を国際協力で推進するGEOに参画することが必要であり、本事業は政策体系の中で優先度が高く政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	我が国はGEO主要国としてGEO執行委員国となっており、執行委員国会議において、拠出金の運用及び財務状況を詳細に確認し、妥当性、合理性を確認している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	GEOへの拠出金は、GNP等を勘案し各国の拠出金額が決められており、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	本事業は、GEOに参画することで海外機関の観測情報を入手でき効率的である。また、執行委員国会議において、単位当たりのコスト水準が妥当であることを確認している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	GEOへの拠出金のみの項目であり、費目・使途は事業目的に真に必要なものに限定されている。また、執行委員国会議において、拠出金の運用及び財務状況を詳細に確認し、妥当性、合理性を確認している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	GEO事務局において、オンライン会議の導入等による運営の効率化などの工夫を行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	GEO執行委員国として運営方針等の決定に関し、GEO事務局による効率的・効果的な事業実施を確認するとともに、事業の成果を検証しつつ拠出額を決定しており、実効性の高い手段となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みのとおり実施できている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	GEOを活用し、我が国の研究者もプロジェクト等に参画しており、十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	

点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・GEO執行委員国会議において、GEOの運営方針を決定するとともに、拠出金の運用及び財務状況を詳細に確認。 ・GEO事務局に対する会計検査が行われており、適切な会計の執行を確認。 ・GEOの運営方針に対する我が国の対応については、科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会地球観測推進部会等の有識者からの意見を踏まえ、決定。
	改善の方向性	上記の点検結果を踏まえつつ、引き続き、本事業の目的を達成するため、予算を効果的かつ適切に執行していく。

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	この事業は、事業所管部局による自己点検及び行政事業レビュー推進チームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。
------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	
------	--

備考

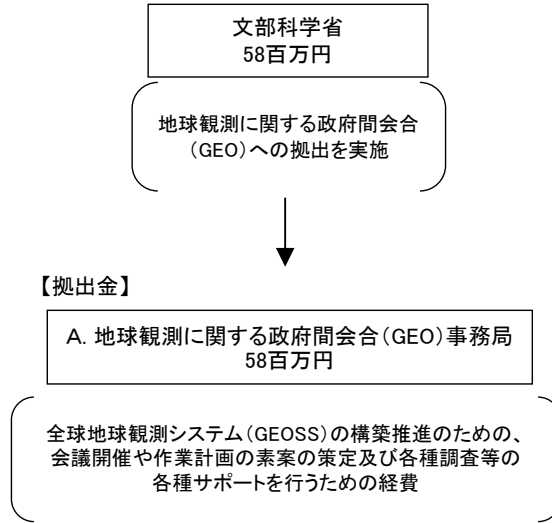
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	273			
平成24年度	292			
平成25年度	252			
平成26年度	253			
平成27年度	242			
平成28年度	235			
平成29年度	241			
平成30年度	240			
令和元年度	文部科学省 - 0234			
令和2年度	文部科学省 0236			
令和3年度	2021 文科 20 0258			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が)

A.地球観測に関する政府間会合事務局			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
地球観測政府間会合拠出金	地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局の活動に資する経費	58			
計		58	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局	-	地球観測に関する政府間会合(GEO)事務局活動(拠出金)	58	その他	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-		-		-	-	